

関西エリア新物流拠点「大阪物流センター」が12月より稼働、CO₂排出量を100%削減
オカムラグループ生産拠点での再生可能エネルギーへの切り替え、自家消費型太陽光発電設備の設置

株式会社オカムラ
代表取締役 社長執行役員 中村 雅行
本社 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル

株式会社オカムラは、関西エリアの物流拠点を移転集約し、日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉 泰彦）が展開する物流施設「LOGIFRONT（ロジフロント）」シリーズの専用物流（BTS型）施設『LOGIFRONT 尼崎Ⅳ』に新物流拠点として「大阪物流センター」を設置、2021年12月より本稼働します。

オカムラグループは、2050年のCO₂排出実質ゼロを目指します。2030年度のCO₂排出量削減目標を2020年度比50%に設定し、2050年カーボンニュートラル実現に向けて取り組みを進めています。

『LOGIFRONT 尼崎Ⅳ』では、日鉄興和不動産株式会社が太陽光発電事業者と連携し、自家消費型太陽光発電設備を導入。太陽光で発電した電力と合わせて、再エネ電力（トラッキング付きFIT 非化石証書の活用）を使用することができる「100%CO₂フリー電力供給」の実現により、CO₂排出量を100%削減します（年間CO₂排出削減量：約150トン）。

また、オカムラグループの生産拠点における電力の再生可能エネルギーへの切り替え、自家消費型太陽光発電設備の設置を進めています。

□『LOGIFRONT 尼崎Ⅳ』の概要

名称：LOGIFRONT 尼崎Ⅳ

所在地：兵庫県尼崎市東海岸町27-1

交通：阪神高速道路湾岸線「東海岸IC」約1km、「中島IC」約4km
阪神高速道路神戸線「尼崎東IC」並びに「尼崎西IC」約5km

敷地面積：25,802.61 m²（7,805坪）

延床面積：29,435.74 m²（8,904坪）

階数：鉄骨造2階建

（参考）

日鉄興和不動産株式会社 2021年10月26日ニュースリリース

物流施設「LOGIFRONT（ロジフロント）」シリーズ 近畿圏第3弾 『LOGIFRONT 尼崎Ⅳ』が竣工 株式会社オカムラが専用物流（BTS型）施設として利用

<https://www.nskre.co.jp/company/news/2021/10/20211026.pdf>

■オカムラグループの地球環境への取り組み

オカムラグループは、2050年のCO₂排出実質ゼロを目指します。2030年度のCO₂排出量削減目標を2020年度比50%に設定し、2050年カーボンニュートラル実現に向けて取り組みを進めています。

―富士精工本社（石川県）の電力を再生可能エネルギーへ切り替え―

オカムラグループの株式会社富士精工本社（石川県能美市）において、北陸電力の水力発電所で発電する再生可能エネルギー「アクアECOプラン」を2021年9月より一部導入しており、2022年4月より全面導入します。

切り替えを実施する拠点：株式会社富士精工本社 石川県能美市大浜町ヤ25
年間CO₂排出削減量：約500トン

―工場に完全自家消費型太陽光発電を導入―

オカムラの生産拠点である追浜事業所（神奈川県横須賀市）と、オカムラグループの株式会社関西オカムラ（大阪府東大阪市）において、自家消費型太陽光発電設備を導入し運転を開始しています。

導入する拠点：

追浜事業所 神奈川県横須賀市浦郷町 5-2944-1 (2021年10月末運転開始)
株式会社関西オカムラ 大阪府東大阪市稲田上町 2-8-63 (2021年7月末運転開始)
年間自家消費量：211kWh
年間CO₂排出削減量：約120トン

(参考)

□オカムラ 2021年6月29日ニュースリリース
カーボンニュートラル実現に向けて2050年CO₂排出実質ゼロを目指す
2030年度CO₂排出量削減目標を改定
https://www.okamura.co.jp/company/topics/other/2021/carbon-neutral_tcf202106.html

□オカムラ 2021年3月31日ニュースリリース
オカムラの山形県内生産拠点の電力を再生可能エネルギーへ切り替え
https://www.okamura.co.jp/company/topics/other/2021/yamagata_energy.html

□オカムラ 2021年3月23日ニュースリリース
オカムラの神奈川県内4拠点の電力を再生可能エネルギーへ切り替え
https://www.okamura.co.jp/company/topics/other/2021/kanagawa_energy.html

■オカムラグループのサステナビリティの取り組み

オカムラグループでは、持続可能な社会の実現が求められる新たな価値観の社会の中で、企業が持続的に成長するためには、ESGを中心に捉えた事業活動が重要であると捉えています。「豊かな発想と確かな品質で、人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとし、企業価値のさらなる向上と社会課題の解決を目指します。ステークホルダーの皆さまからの期待や社会の要請に対し、グループ一体となって応えていくために、「人が生きる環境の創造」「従業員の働きがいの追求」「地球環境への取り組み」「責任ある企業活動」の4つの観点から重点課題を特定し、取り組みを推進しています。

「地球環境への取り組み」では、「気候変動への対応」「資源の有効活用」「製品のライフサイクルを通じた環境配慮型製品・サービスの提供」を重点課題として捉え、2050年の脱炭素社会実現に貢献する取り組みを積極的に進めていきます。

□オカムラウェブサイト サステナビリティ情報
<https://www.okamura.co.jp/company/sustainability/>

人を想い、場を創る。

OKAMURA